

議会運営委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和3年7月8日（木）

午後1時30分 開会

午後2時10分 閉会

○ 場 所 第2常任委員会室

○ 出席委員（9名）

委員長	伊波一男
委員	山城康弘
委員	米須清正
委員	呉屋等
委員	—

副委員長	濱元朝晴
委員	知念秀明
委員	知名康司
委員	桃原朗
委員	桃原功

議長	上地安之
----	------

○ 欠席委員（1名）

委員	岸本一徳
----	------

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（2名）

基地政策部次長	多和田功
---------	------

基地渉外課長	吉村純
--------	-----

○ 議会事務局職員出席者（4名）

局長	東川上芳光
議事係長	平田駒子

課長	仲村厚子
担当主査	大城拓也

○ 協議案件

1. 普天間飛行場内におけるPFOSを含む汚水処理について

議会運営委員会（要旨）

令和3年7月8日（木）

○伊波一男 委員長 ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

（開会時刻 午後1時30分）

【協議事項】

普天間飛行場内におけるPFOSを含む汚水処理について

○伊波一男 委員長 本日開催の先の議会運営委員会にて、本件については、基地関係特別委員会で調査することとしていたが、「市内で発生した事件、事故」ではないことから、議会運営委員会が所管することになったのでご了承いただきたい。

本件について、基地政策部から説明を聴取してよろしいか。

（「異議なし」という者あり）

○桃原功 委員 説明の前に、先の議運で事実確認が取れていないという意見があったので、今日の県内2紙の新聞報道記事を資料として配付していただきたい。

○伊波一男 委員長 資料配付してよろしいか。

（「異議なし」という者あり）（事務局より、資料を配付する）

○伊波一男 委員長 それでは、基地政策部より説明をお願いしたい。

（説明員着席）

○基地政策部次長 普天間飛行場内のPFOSを含む水の排出処分について、基地政策部としても本日の朝刊で確認し、県や沖縄防衛局へ照会しているところである。詳細は基地渉外課長より説明させたい。

○基地渉外課長 現在、基地渉外課としても事実確認を行っているところである。まず、沖縄県に確認したところ、県も防衛局へ情報提供を求めているところであり、本日9時20分時点で返答がないとのことであった。沖縄防衛局へは本日9時30分頃確認し、米側においてPFOSを含む水は適切に保管処分しているところであり、処分方法は検討中である旨の回答を頂いた。現状としては事実確認のため情報提供を求めているという状況である。

○伊波一男 委員長 質疑等あれば挙手いただきたい。

○桃原功 委員 新聞報道では、PFOSが貯水槽にあるという表記がされているが、普天間飛行場の東側に大きな貯水池を4～5年前に造っている。それでも大雨の際は

市道宜野湾 11 号の低いところは、冠水してしまうが、今回報道の貯水槽は、貯水池とは別の所にあるのか。

○**基地政策課長** 今回新聞報道で報じられている貯水槽の場所なども現在のところ確認できていない。調整池と同一なのかも含めて把握していない。

○**桃原功 委員** この P F O S を含む泡消火剤の扱いは 2009 年に国連で使用と製造が制限されている。翌 2010 年に、日本の国内法である化審法で製造、使用が禁止され、廃棄物処理法に沿って処理しなければならない。ところが、米軍は薄めて川に放出したいとの新聞報道がある。普天間基地から宜野湾市の周辺の川に放流しようと、米軍が意思表示しているのだから、基地政策部には通訳もいるので、防衛局だけではなく、直接米軍へ問合せをする義務がある。問合せは行ったのか。

○**基地渉外課長** 普天間飛行場側に直接問合せは行っていない。

○**桃原功 委員** なぜ通訳がいるのに問い合わせを行わないのか。これは私たち宜野湾市のことである。那覇や山原のことではなく宜野湾市で起ころうとしていることである。

○**基地渉外課長** 本件については、処分方法は検討中であると沖縄防衛局から回答を頂いている。当然 P F O S を含む汚水については環境省が定めている処分方法があるので、希釈して流すということはあってはならないことだと考える。

○**桃原功 委員** 沖縄防衛局の回答だけをうのみにせず、自らどうなっているのか普天間飛行場に直接問合せをすべきと考える。問合せをしていただけないか。

○**基地渉外課長** 先ほどの臨時会終了後、このような内容を市長へ報告しており、米側への直接対応などは、まだ市長との調整ができていない状況である。

○**桃原功 委員** きちんと市長と詰めて、市民の安全を守るために、直接、宜野湾市が米側へも問合せをお願いしたい。

○**基地渉外課長** 直接の照会については検討させていただきたい。

○**桃原功 委員** ぜひ検討いただきたい。米軍は勝手なことをやるので、川に捨てられてしまっはアウトである。直接米軍へ問い合わせせて早く事実確認を取らないと議会が前に進めない。捨てないよう抗議したいが緊急質問もできず、慌ただしくこのような議会運営委員会の開催となった。ぜひ事実確認から取っていただきたいがいかがか。

○**基地政策部次長** P F O S を含む水を、いくら希釈してといっても流していいものではないとの認識であるので、処分については、それなりの方法をしっかりと守っていただきたいということを伝えながら、問合せについても市長調整を行い前向きに検討したい。

○**桃原功 委員** 今朝、防衛局へ問い合わせたということであったが、その内容の詳細を教えていただきたい。

○**基地渉外課長** 我々も新聞報道等で確認したので、その内容について事実確認を行いたいということを伝えた。沖縄防衛局からは米側においてPFOSを含む水は、適切に保管しているところであり、処分方法は検討中であることの回答を頂いた。新聞報道等においても「防衛省は対応を検討し、汚水を川へ放出しないようアメリカ軍に伝える方針」とあるので、本市としてもそのような処理がなされるように引き続き注視してまいりたい。

○**桃原功 委員** PFOSの件は、米軍は数年前から勝手に漏出したり、保管していたり、また、PFOSが含まれない代替製品に代えるといいながら実態としてこのように汚水が基地内にあるという事実がある。市と米軍でPFOS等の有害物質に関する明文化した取決めは作ってあるのか。

○**基地渉外課長** 市長と司令官とは意見交換の場があり、引き続き、騒音や泡消火剤の交換を含めその進捗は確認してまいりたい。

○**桃原功 委員** 基地担当部署として掌握していないのはどうなのか。PFASの問題は高い頻度で起こる。クォーターミーティングの内容も文字として出てこない。PFOSを使わないこと、PFOSを含まない泡消火剤に切り替えること、事故の際の市への連絡手順などを明文化して互いに覚書として持つべきではないか。また起こるそのときに市民の安全は守れない。見解を伺いたい。

○**基地渉外課長** 今のところ、覚書の作成はしていないが、市長からその都度文書で泡消火剤の交換を早急にすることなど要請を行っている。その進捗を我々は確認する必要があると考える。

○**桃原功 委員** 火事や火災訓練等については市消防と米軍側において通報の手順などを取り交わしているとの記憶があるが、火災以外でも、PFAS漏出や処分方法についての問題等が発生するため、覚書などの取り交わしが必要と考える。市民の安全を一番に考え、ぜひ検討していただきたい。

○**基地政策部次長** クォーターミーティング等は司令官ができる範疇での互いの協議である。覚書などの締結は国と国の協議であるなどと言われることが多々あり、例があまりない。司令官の範疇でできることについては調整して結べているものはあるが、大きな決め事はなかなか厳しいと思うが、市としてできること、情報伝達やその後の対策などは検討の余地はある。すぐに回答できないことは御理解いただきたい。

○**桃原功 委員** 頻繁に発生することなので明文化して可視化してほしい。ぜひ検討していただきたい。

○**山城康弘 委員** 沖縄タイムスの記事中に、米軍が「周辺の川に放出したいと日本側に伝えていることが7日、分かった」という記載と、防衛省担当者への取材の中では

「川に流すとの正式な申し入れは今のところない」という記載があるが、整合性が取れない。どちらなのか、分かる範囲でよいので確認したい。この点は重要なポイントである。米側がPFOSを含む汚水を希釈して流すと言っているのなら大変な問題である。

○**基地渉外課長** そこも含めて事実確認をさせていただきたい。

○**桃原功 委員** この前、司令官が変わったばかりだが、現在、普天間飛行場内でPFOSを保有しているか把握しているか。

○**基地渉外課長** 詳細は把握してないが、おそらく保有していて順次PFOSを含まない泡消火剤へ交換が進んでいると認識している。

○**桃原功 委員** それは、直接口頭などで確認が取れているのか。

○**基地渉外課長** 交換に向けて取り組んでいるというのは確認できているが、完了したというのは確認できていない。

○**桃原功 委員** ということは、PFOSを使用しているという可能性が高いと理解してよいのか。

○**基地渉外課長** PFOSを含む泡消火剤が残存していると認識しているが、消火訓練では2016年3月以降、水を使用しているとの説明を受けている。

○**桃原功 委員** 2020年の4月に南の格納庫でPFOS漏出事故が発生した。その事故との整合性は取れないのではないか。

○**基地渉外課長** PFOSを含む泡消火剤は残存しているが、消火訓練の際は使用していない。火が発生した場合は、使う可能性があると認識している。その泡消火剤についてPFOSを含まないものに交換を進めているということである。

○**桃原功 委員** あの格納庫での漏出事故は、バーベキューの熱を感知してPFOSを含む泡消火剤が漏出した。火災訓練でも使う可能性はあるのではないか。

○**基地政策部次長** 防衛省、防衛局からの説明ではバーベキューの熱を感知して事故だと判断して消火剤が使われた。目的をもって行われる訓練には一切使用していないとの説明を受けているので、ご指摘は、別ものではないかと考える。ただ、当然、中を全て確認できるわけではないが、そのような扱いではないかと考えている。

○**呉屋等 委員** 今後の市の対応についてだが、PFOSを含む汚水が入っている貯水槽があるということは事実なので、今後、市が防衛省や米軍に対して、立入調査を求める予定はあるのか。

○**基地渉外課長** 防衛省は、川に流すのではなく適切に処分するように伝える方針と理解しており、まずは、市も当然、川に流すのではなく適切に処理をしていただく方向性までは確認している。実際に基地内に入って調査するか市長には確認取れていない

ので検討させていただきたい。

○呉屋等 委員 米軍との信頼関係の中で成り立つことと考えるが、これだけ報道されているので、市が直接入らなくても防衛省、外務省なりで、現場を確認することは大事である。市から、現場立ち入りを求めることを提案する。

○伊波一男 委員長 他に質疑がなければ、質疑を終えたいがよろしいか。

(「異議なし」という者あり)

○伊波一男 委員長 これで質疑を終えることとする。

(説明員退室)

○伊波一男 委員長 今後の予定について意見があれば伺いたい。

○山城康弘 委員 米側から、P F O Sを含む汚水の川への放出について、申入れがあったのか、本件の根本的な事実の確認をしっかりと早く取るべきである。

○桃原功 委員 山城委員から指摘されたように、事実確認が必要と考える。私も、防衛局だけでなく、米軍へも直接、事実確認を取るよう市へ要望し、期待をしている。それを注視して待つしかないのではないか。そうしなければ動きようがない。

○伊波一男 委員長 他に意見があればお願いしたい。

○桃原功 委員 本日傍聴に来ている県内2紙の記者へ、記事表記の詳細について確認することはできないか。

○伊波一男 委員長 傍聴人であり、参考人ではないので御理解いただきたい。

○呉屋等 委員 今後の進め方についてだが、様々なことを想定しなければいけない。万が一川に放出した事実が判明した場合は、本件の所管は、議会運営委員会ではなく、基地関係特別委員会に変わるという認識でよいのか。

○議会事務局 本市議会申合せ事項より、宜野湾市の川に放出された際は、基地関係特別委員会の所管と考える。

○呉屋等 委員 その時点で、議会運営委員会の協議を終えるということに理解した。

○伊波一男 委員長 現時点では事実確認ができていない状況である。基地政策部より情報確認ができた時点で委員会を招集することによろしいか。

(「異議なし」という者あり)

【協議結果】

普天間飛行場内におけるP F O Sを含む汚水の処理について、事実確認等の情報の把握ができた時点で引き続き協議する。

○伊波一男 委員長 本日の委員会を閉会いたします。 閉会時刻 (午後2時10分)